

～スキンケアユーザーから見た敏感肌、揺らぎ肌の理解化粧品開発のポイントは～

1名分料金で
2人目無料

敏感肌、揺らぎ肌の化粧品開発のための 皮膚科学の基礎と有用性評価法(LIVE配信)

◆日時:2026年2月20日(金) 12:30~16:30

◆会場:自宅や職場など世界中どこでも受講可

◆聴講料:1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

セミナーHP <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260270>

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】※講師のご略歴等の詳細は弊社HPでご確認下さい

元大手化粧品ブランド 研究開発部リサーチフェロー(上席技術責任者) 博士(医学) 宮本 久喜三 氏

《ご専門》 画像技術を用いた皮膚の臨床的評価及び診断方法開発、皮膚老化及び抗皮膚老化の研究

皮膚(主に顔面皮膚)の老化指標の標準化、皮膚医学、医薬部外品、化粧品の効果効能法の確立

【講座趣旨 / プログラム】 ※詳細内容は弊社HPでご確認下さい

化粧品、特に最近のスキンケア製品は多様化した消費者のニーズに応えるためにも様々な機能性が謳ってある。最近のスキンケア消費者の肌トラブルとして敏感肌、揺らぎ肌がトレンドとなっている。敏感肌や揺らぎ肌は幅広い感覚や皮膚の変化を含み、個々の症状は軽度であるが複合的な要因が合わさっていると考えられる。比較的若い消费者的肌悩みという特徴もあることから、消費者の言う敏感肌とは何かをよく理解することが先決である。また、時代によって変化する消费者的ライフスタイルも把握することで、敏感肌や揺らぎ肌の消費者定義をいくつかのカテゴリーに分解することができるようになってくる。さらに、敏感肌、揺らぎ肌といわれる皮膚のメカニズムやリサーチも文献等で発表されるようになった。その上で、これらの皮膚機能、要因について紐づけていくことで客観的に把握できるようになり、どのような手法を持って評価するべきかについても明らかになってくる。特に敏感肌、揺らぎ肌に対する有効性を実際の人の皮膚で検証しておくことは自身の製品の効果を保証するためにも、消費者の便益においても重要である。以上から、本セミナーはスキンケア開発、及び評価方法に興味のある方、また消費者ニーズをどのように客観的に理解して、皮膚機能と効果効能評価法を確立していく手法について理解を深めたい方を対象にした講座である。

1.はじめに

2. 敏感肌とは何か 一消費者的観点から見た敏感肌

2-1 敏感肌の特徴 - センサー(年代別、季節別等)

2-2 敏感肌の分類

2-3 敏感肌と感じる消费者的ライフスタイル、タイミング

2-4 皮膚の構造とスキンケア製品塗布効果の関係

3. 敏感肌とは何か 一皮膚科学の観点から見た敏感肌

3-1 皮膚保湿機能

3-2 皮膚バリア機能

3-3 皮膚皮脂分泌機能、にきび

3-4 皮膚末梢神経

4. 敏感肌と日内・日間皮膚状態の変化(肌揺らぎ)の関連

- 敏感肌皮膚フィールドリサーチの一例の紹介

4-1 若年層における日内及び日間皮膚状態の変化を定量的に調査した試験デザイン

4-2 日内、日間で起こる皮膚変化

- 視覚的及び角質水分量・バリア機能

4-3 日内、日間で起こる皮膚変化

- 被験者のライフスタイルと敏感肌の関連

5. 敏感肌の測定、効果効能評価方法について

5-1 全体計画

5-1-1 データの使用目的に応じた試験デザイン、試験計画書

5-1-2 目的とするスキンケア効果を立証するための測定方法

5-1-3 被験者の選択 5-1-4 試験期間

5-2 試験機関、測定環境

5-2-1 測定室の環境設定(温度、湿度、照明)

5-2-2 試験機関の選択

(社内で行うか、外部機関に委託するか)

5-2-3 その他測定環境で整えておくべき注意点

6. 敏感肌を評価するための皮膚測定方法

6-1 視覚的皮膚画像解析方法

6-1-1 皮膚の色味に関する測定:皮膚色/くすみ/ニキビ等

6-1-2 皮膚の表面形状に関する測定:

キメ/毛穴/シワ(小じわ)(2D/3D測定)

6-2 物理特性測定方法

6-2-1 角質水分量

6-2-2 バリア機能

6-2-3 皮脂分泌量

6-2-4 皮膚弾力量

6-3 官能性評価方法

6-3-1 アンケート・質問状による評価方法

6-3-2 敏感肌の特徴を理解した上での官能性評価方法

6-4 被験者の選択

6-4-1 目的とする有用性を立証するための

被験者選択基準、適切なn数

6-4-2 その他気を付けておくべきこと

(同意書、個人情報データ等)

6-5 バラつきを抑えた測定方法のコツ

(測定再現性、測定者の測定精度、等)

7. 敏感肌評価試験の実施

7-1 上記試験計画書に則った試験実施の確認

7-2 試験データの解析、まとめ方

7-3 その他

8. 総括、今後の展望について

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順
 1)Zoomを使用されたことがない方は、こちら(https://zoom.us/download#client_4meeting)からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。
 2)セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。はじめかたについてはこちら(<https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。
 3)開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴用URLよりご参加ください。
 ・セミナー資料は開催日前までにお送りいたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

『敏感肌化粧品【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学		
-------	--	--

住 所	〒	
-----	---	--

電話番号	FAX	
------	-----	--

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。 Eメール 郵送

●セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的に受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧下さい。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧下さい。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>